

案件概要書

2014年4月22日

国際協力機構東南アジア・大洋州部東南アジア第四課

1. 案件名（国名）

国名： カンボジア王国

案件名： 州病院整備計画 (Project for Rehabilitation of Provincial Hospital)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健医療セクターの開発実績（現状）と課題

カンボジアでは1970年代からの内戦による医療従事者の迫害や医療機材・施設の破壊等の結果、国の保健医療システムが崩壊した。内戦終結後は、ドナー等の支援により、妊産婦死亡率が2000年の470(出生10万対)から2010年には206(出生10万対)(2010年 Cambodia Demographic Health Survey)に低減する等、保健指標は改善傾向にあるが、周辺国に比べると依然改善の余地がある。特に地方では、都市と比べて医療従事者及び保健医療施設・機材の不足により病院の保健サービスの提供体制は脆弱である。スヴァイリエン州は、人口約57.8万人(2013年)を抱え、11の経済特区を持つ経済的にも重要な州であるが、スヴァイリエン州病院は、医療機材の不足や施設の老朽化により同州のトップ・レファラル病院としての役割を十分果たしておらず、これらの整備が喫緊の課題である。

(2) 当該国における保健医療セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

カンボジアの国家開発戦略計画(NSDP)において、保健分野を優先課題と位置づけており、「国家保健戦略計画2008-2015」(HSP2)において、母子保健は、感染症対策、非感染性疾患対策と並んで重点課題として挙げられている。本事業は、三次病院としての機能を持つ州内のトップ・レファラル病院を整備することにより、地方においても総合的な保健医療サービスの提供を可能にするものであり、州全体の保健状況の改善のためにも必要である。

(3) 保健医療セクターに対する我が国の援助方針

保健医療セクターは、我が国の対カンボジア王国国別援助方針(2012年4月)の援助重点分野「社会開発の促進」に該当し、その開発課題「保健医療の充実」の中で母子保健分野を中心とした支援を保健システム強化の視点も含めて行うこととしている。

(4) 他の援助機関の対応

世界銀行、英、仏、豪、ベルギー、国連児童基金、国連人口基金等が「保健セクター支援計画2」に共同出資し、保健分野全般の支援を行っており、その中で地方のヘルスセンターの建設や機材整備を実施している。また、韓国国際協力事業団が、プノンペンにおいて眼科病院の建設や複数の地方病院の改修事業を実施中である。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業は、州のトップ・レファラル病院の施設及び医療機材の整備を行うことにより、同病院の産婦人科及び小児科を始めとする機能の向上を図り、もって当該州の保健医療サービスの質の改善に寄与することを目的とする。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

スヴァイリエン州病院（補足的に他の州病院も調査する。）

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

【機材】超音波診断装置、手術台、患者監視装置等

【施設】産婦人科棟、小児科棟、手術室等の整備

2) コンサルティングサービス/ソフトコンポーネントの内容

協力準備調査にて確認する。

(4) 事業実施体制

事業実施機関：保健省及びスヴァイリエン州病院

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進等：協力準備調査にて確認する。

(6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携：技術協力「助産能力強化を通じた母子保健改善プロジェクト」（2009年度～2014年度）では、国レベルの研修を実施している国立母子保健センターと協力しながら、コンポンチャム地域（コンポンチャム州、スヴァイリエン州、プレイベン州、コンポントム州）を対象に、助産師向けの研修の質の向上のための支援を実施している。本事業では、コンポンチャム地域内で特に施設・機材整備の必要性が高いスヴァイリエン州病院を対象とするため、同プロジェクトとの相乗効果が期待される。

(7) その他特記事項：特に無し。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

無償資金協力「カンボジア国バンティミエンチャイ州モンゴルボレイ病院整備計画」（2004年度）の事後評価等では、十分な医療及び事務の人員配置、機材の修理のための予算の確保、スペアパーツ購入に係る所要時間の長さ等の課題が指摘されている。

(2) 本事業への教訓

実施機関による恒常的な機材の維持管理予算の確保、必要人員の配置、調達据付機材のスペアパーツ調達に係る現地代理店との維持管理契約の状況等を、実施中の技術協力案件「レファラル病院における医療機材維持管理システムの強化プロジェクト」（2009年度～2014年度）のデータ・経験も活用し、入念に検討して機材選定を行う。

以上

〔別添資料〕 プロジェクト対象地域 位置図

